

4つの性の在り方

性別は、戸籍上に記載されている「男」「女」だけではありません。性は4つの要素に分けられるといわれており、一人一人その組み合わせは異なります。まずは、あなたの性の要素について、ここであらためて考えてみましょう。

好きになる性 (性的指向)

自身の恋愛感情や性的欲求がどの性別に向いているか示すもの



心の性 (性自認)

自分の性を自分でどう感じているか。自身で認識している性別

表現する性 (性表現)

ファッションやしぐさ、言葉遣いなど、自分を表現する性

体の性 (性的特徴)

体の性別。性器の形状などから客観的に識別される性別(戸籍の性)

性的マイノリティを表す言葉

L レズビアン lesbian	G ゲイ gay	B バイセクシュアル bisexual	T トランスジェンダー transgender	Q クエスチョニング questioning
女性同性愛者 心の性が女性で、同性を好きになる女性	男性同性愛者 心の性が男性で、同性を好きになる男性	両性愛者 異性も同性もどちらも好きになることがある人	性別越境者 体の性と心の性が異なる人(性同一性障がい者を含む)	好きになる性や心の性が分からず決められない、または決めていない人



「LGBTQ+」という言葉は、性的マイノリティの頭文字を合わせたものです。世の中には2つの性(男性・女性)が基盤として存在していますが、人の数だけ多様な性自認や性的指向、性的表現があります。性の在り方はこれらの組み合わせでできており、異性が好きな人もいれば同性が好きな人もいることは、自然なことなのです。

「+」は何？

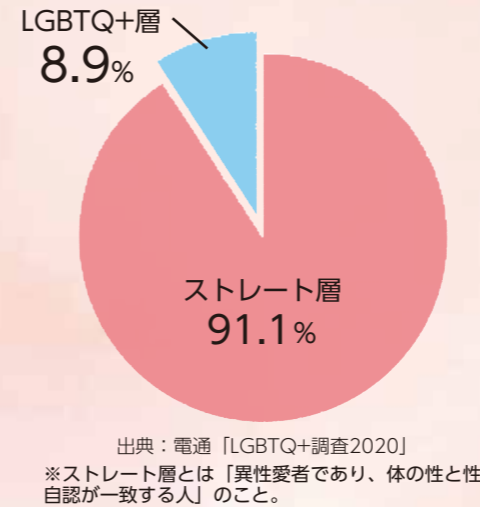
LGBTQのほかに、さまざまな性の在り方が存在します。これらは性的な表現方法の一例であり、人の数だけアイデンティティがあるため「+」と表記されています。

性的マイノリティ

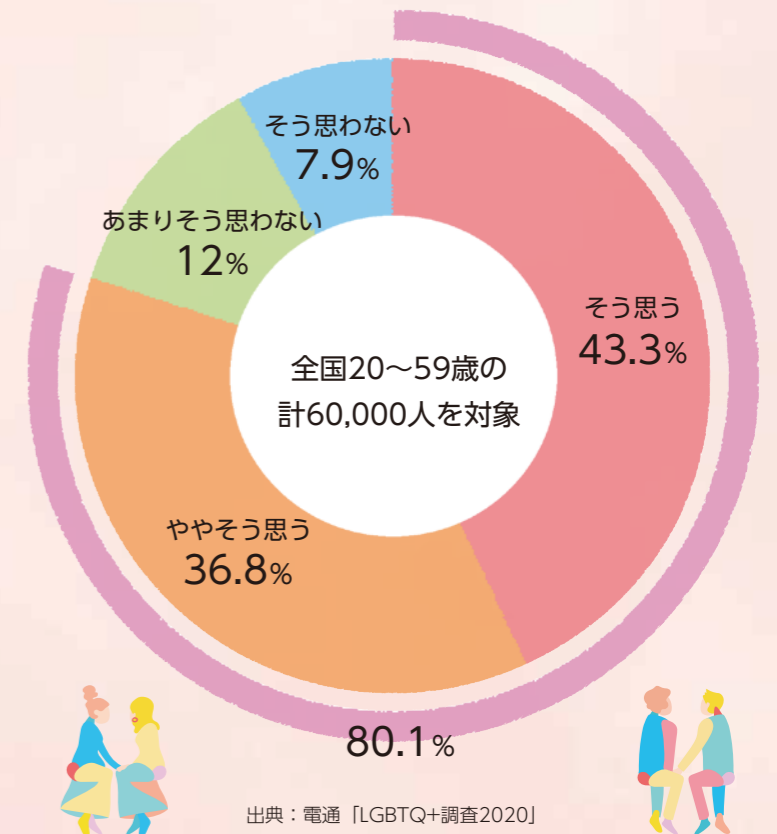
LGBTQ+ ってなに？



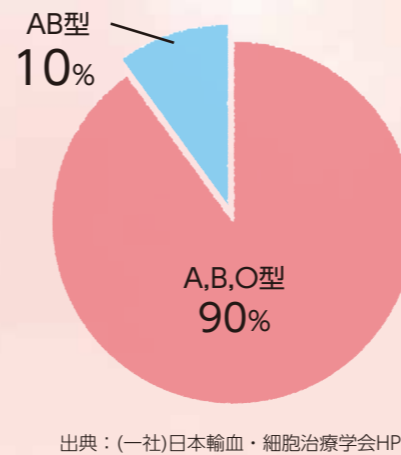
LGBTQ+層の割合



LGBTとはセクシャル・マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつということを知っていますか？



血液型がAB型の人割合



性的マイノリティの総称を指すLGBT。最近では、その他の性的少数者をより広く指すため、クエスチョニング(Q)を加えたLGBTQやLGBTQ+、LGBTsなどの総称が広がっています。今回の特集では、性的少数者全般を表す際に「LGBTQ+」を使用します

世の中には、男性と女性がいて、お互いが異性を好きになり、女性らしく、男性らしく振る舞うことが当たり前だと思いませんか。性には、好きになる性別や言葉遣い、しぐさなど人の数だけ違いがあり、異性または同性を好きになる人から、どちらの性も好きになる人、特定の誰かを好きにならない人までさまざまです。中には、体の性とは逆の性自認を持つ人、中性の人、性別を決められたくない人もいます。異性を好きになることが当たり前という考えは、周りの誰かにとっては当たり前ではないかもしれません。日本には8~10%のLGBTQ+の人たちがいるといわれており、これは、血液型がAB型の人と同じくらいの割合です。私たちのまちなにも多くの当事者が暮らしています。しかし、社会の理解不足や偏見を恐れて周囲に伝えることができない人も多いのが現状です。

市では、今年度から「人権推進課」を新設し、個人や集団の中に存在する多様性を認め合うダイバーシティ施策を推進しています。今回の特集を通して、LGBTQ+に対する理解を深め、自分の中の当たり前を見つめ直し、お互いの違いを受容することで尊重し合える社会への一歩を踏み出してみませんか。